

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園維持管理に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公園サポーターとのコミュニケーションを大切にし、各公園の状況などに応じた管理を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、公園サポーターとのコミュニケーションを大切にし、各公園の状況などに応じた管理を行う。
②①に基づく取り組み結果	各公園の状況などに応じた管理を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市が管理する都市公園 ふれあいの森	意図(対象をどうするのか)	来園者に対して気持ちの良い公園を提供する。
②事務事業の概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民との協働管理においては、高齢化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	公園サポーター管理による公園を増やし、来園者に対して気持ちの良い公園を提供することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	公園サポーター数	34	33	34	人	業務取得
	ii	公園サポーター管理公園数	40	39	40	箇所	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳			平成29年度予算	
事業費(千円)	152,089	141,667	金額(千円)		内容	142,654	
	国支出金(千円)		99,956		公園管理委託		
	県支出金(千円)		21,999		公園維持工事		
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	152,089	141,667			142,654	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	都市公園数の増加や既存施設の老朽化に伴う維持管理費の増加。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公園管理において、地域住民の参加を増やし、公園に対する愛着と意識を高める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越	
		H27⇒28繰越				
③達成状況		補正			現年分	
④未完了・非着手の理由			流用・充当			
	平成29年度への繰越額(単位:千円)					

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	緑化推進に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	ふれあいの森、保全林等の指定により、緑の保全に努め、市民に緑と触れ合える場を提供する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	ふれあいの森、保全林等の指定により、緑の保全に努め、市民に緑と触れ合える場を提供する。
②①に基づく取組み結果	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、みどりの保全助成金の交付などを行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市公園、ふれあいの森等	意図(対象をどうするのか)	市民が利用できる緑地の確保、土地所有者の負担軽減。
②事務事業の概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借を行う。ふれあいの森、保全林等の所有者に、みどりの保全助成金を交付する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	個人所有の自然緑地の適正な維持管理には、相当な費用を要することから個人で維持管理していくのが難しく、相続発生などをきっかけに宅地化する傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	市民のための良好な緑の保全を図ることで、快適な緑地環境の確保ができた。					
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i 市民一人当たりの公園面積	2.9	2.91	2.91	%	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	19,827	12,506	金額(千円)	内容	11,960	
国支出金(千円)	7,353		6,795	公園用地賃借料		
県支出金(千円)			4,281	みどりの保全助成金		
市債その他(千円)						
一般財源(千円)	12,474	12,506			11,960	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保全林、ふれあいの森、借地公園について、相続発生などによる急な買い取り要望への対応が求められる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	1低い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要であるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H27からの繰越
		H27⇒28繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成29年度への繰越額(単位:千円)				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	第二期の整備(案)策定後、平成29年度の工事着手の為の実施設計の策定と用地買収を行う。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	栗野地区公園第二期整備の取得済み用地の保全工事を実施するとともに、用地の早期取得を目指す。
②①に基づく取り組み結果	栗野地区公園第二期整備計画を策定し、実施設計を実施したが、次年度に繰越となった。用地は計画通り取得できなかった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地区公園	意図(対象をどうするのか)	整備
②事務事業の概要	地区公園整備のため、用地取得、実施設計、整備工事などを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	現在は栗野地区公園のみを実施しているが、市制記念公園の未買収地の地権者から買取りの要望が来ている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	栗野地区公園第二期整備事業の用地が計画通りに取得できず、実施設計業務は翌年度に繰越となり未完了である。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	栗野地区公園第二期用地取得率	40.1	55.3	66.9	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	46,155	45,529	金額(千円)	内容	11,696		
国支出金(千円)	14,000	10,640	11,424	設計委託			
県支出金(千円)			31,935	用地購入			
市債その他(千円)	31,200	29,100					
一般財源(千円)	955	5,789			11,696		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	栗野地区公園は計画通りに用地取得できず、本工事に着手できない。市制記念公園は国費など財源の確保が課題。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	着手中の栗野地区公園第二期を整備する必要があるため、引き続き用地取得に向けて交渉していく必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	用地購入、実施設計	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	予定個所以外の用地購入実施。実施設計は繰越。	129,200	121,496	当初	129,200	45,529	H27からの繰越	10,636
				H27⇒28繰越	10,636			
③達成状況	未完了			補正	0		現年分	34,893
④未完了・非着手の理由	水道の引込検討で水道局との協議に時間を要したため。			流用・充当	-18,340			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)		6,696				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	街区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	東道野辺ふれあいの森の用地購入及び公園排水整備基本設計の策定。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	東道野辺ふれあいの森の用地取得を完了させるとともに、実施設計を実施する。
②①に基づく取組み結果	東道野辺ふれあいの森の用地を取得し、基本設計を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	街区公園	意図(対象をどうするのか)	整備
②事務事業の概要	街区公園整備のため、用地取得、実施設計、整備工事などを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	第一学校給食センター跡地利用の基本設計を実施し、街区公園の整備方針を決定した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	東道野辺ふれあいの森の用地購入及び基本設計を実施。 第一学校給食センター跡地の基本設計を実施。					
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i 東道野辺ふれあい森用地購入	34.1	65.4	92.2	%	業務取得
	ii					
iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	138,863	127,918	金額(千円)	内容	56,865	
国支出金(千円)	46,000	39,360	7,808	設計委託	21,900	
県支出金(千円)			118,080	用地購入		
市債その他(千円)	82,800	84,800			29,900	
一般財源(千円)	10,063	3,758			5,065	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	整備計画個所が多数あるが、国費など、財源の確保が課題。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	着手中の東道野辺ふれあいの森を街区公園として整備する必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	用地購入(東道野辺ふれあい)基本設計(給食センター跡地)	平成28年度事業費の状況(単位:千円)				
		計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	用地購入実施(東道野辺ふれあい)基本設計実施(給食センター跡地)	113,281	129,630	当初	113,281	127,918
				H27→28繰越	0	
③達成状況	完了			補正	0	現年分
④未完了・非着手の理由				流用・充当	16,349	
		平成29年度への繰越額(単位:千円)		0		

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	(仮称)総合運動公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度に取得した緑道用地を整備する。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	整備計画はないが、今後も総合運動公園構想に基づき検討を進めていく。
②①に基づく取り組み結果	緑道及び広場の整備完了。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	(仮称)総合運動公園	意図(対象をどうするのか)	整備
②事務事業の概要	(仮称)総合運動公園整備のため、用地取得、実施設計、工事などを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	スポーツ・レクリエーションの拠点となる総合運動公園構想の実現が望まれている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	市制記念公園から市道2321号線までの緑道及び広場が完成。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	緑道延伸用地取得		100		%	業務取得
	ii	27年度取得用地の整備率			100	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)	28,081	8,966	金額(千円)	内容		0	
国支出金(千円)	26,000	6,000	8,462	整備工事			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	2,081	2,966					

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	なし。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	3休止
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通		
③上記評価の理由	市制記念公園から市道2321号線までの緑道が完成したため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	緑道整備	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	緑道及び広場整備実施	7,555	9,202	当初	7,555	8,966	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	8,966
				流用・充当	1,647			
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園施設長寿命化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	長寿命化計画を基に維持管理を実施。	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、長寿命化計画を基に維持管理を実施。
②①に基づく取り組み結果	長寿命化計画を基に維持管理を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ヶ谷市内の公園施設	意図(対象をどうするのか)	既存施設の長寿命化対策及び安全対策の強化を進める。
②事務事業の概要	公園施設の長寿命化計画を定め、計画的な維持管理を行うことにより、安全の確保と、維持管理予算の平準化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公園施設の老朽化が急速に進む中で、計画的な維持管理に取り組むことが必要となっている。誰もが安心して利用出来る都市公園の管理が望まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	長寿命化計画を基に貝柄山公園及び手通公園の遊具を更新をした。					
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i 対象公園数	176	176	176	箇所	業務取得
	ii 長寿命化対策計画対象施設数	6.4	8.8	11.1	%	業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算	
事業費(千円)	9,979	10,090	金額(千円)	内容	20,300	
国支出金(千円)			10,090	遊具更新工事	10,000	
県支出金(千円)						
市債その他(千円)	5,000	5,000			5,000	
一般財源(千円)	4,979	5,090			5,300	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化が進む中、修繕・更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めることが課題。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	安心利用できる公園の管理が推進できるよう、更に進展する遊具等公園施設の老朽化に対し、安全強化を進める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	施設の修繕・更新	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	公園施設長寿命化整備	20,000	20,000	当初	20,000	10,090	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	10,090
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
		平成29年度への繰越額(単位:千円)						

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(＝事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度から実施計画に計上されたため記載なし	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	市制記念公園内に6本植樹する。
②①に基づく取り組み結果	平成28年度から実施計画に計上されたため記載なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷地区から市制記念公園周辺の「桜ゾーン」	意図(対象をどうするのか)	賑わいの創出による市の魅力アップ
②事務事業の概要	「桜ゾーン」に桜を植樹して、人を誘導し、回遊性を生み出すことで賑わいを創出し、市の魅力アップを図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	74本の植樹を計画していたが、具体的に植樹可能箇所を調査した結果、59本の植樹を行う計画に変更となった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	桜の里親制度による桜の植樹				
②成果を表す指標	指標名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	算定根拠
	i 植樹本数		24	8	業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算
事業費(千円)	7,353	4,933	金額(千円)	内容	5,150
国支出金(千円)			4,815	桜の植樹工事	
県支出金(千円)					
市債その他(千円)		720			120
一般財源(千円)	7,353	4,213			5,030

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩車道と地下埋設物への影響から将来の桜の成長に見合う植樹場所の確保が難しい。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業実施計画に基づき、引き続き桜の植樹を行うことで、市の魅力アップを図っていくため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	植樹工事	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	桜の植樹8本実施	5,524	5,524	当初	5,524	4,933	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		現年分	4,933
③達成状況	完了			補正				
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成29年度への繰越額(単位:千円)		0				

平成29年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	緑道整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	大塚 勝彦			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成28年度新規事業のため記載なし	③平成29年度に取り組む改革・改善内容	土地譲渡契約(債務負担行為)に基づく土地代金の支払い。
②①に基づく取り組み結果	平成28年度新規事業のため記載なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	緑道	意図(対象をどうするのか)	整備
②事務事業の概要	緑道整備のため、用地取得、実施設計、工事などを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	緑道整備のため、千葉県企業庁から東京10号線延伸新線用地を取得した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成28年度の事業の成果	土地譲渡契約(債務負担行為)に基づく土地代金の支払い。						
②成果を表す指標	指標名称		平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	算定根拠
	i	土地代金支払率			29.3	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成27年度決算	平成28年度決算	平成28年度決算(事業費)の主な内訳		平成29年度予算		
事業費(千円)		39,319	金額(千円)	内容	11,622		
国支出金(千円)			39,319	用地購入			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)		39,000					
一般財源(千円)		319			11,622		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	現在、新京成連続立体交差事業の仮線用地に使用されているため、仮線が撤去されるまで緑道の整備はできない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	土地譲渡契約に基づく支払を続けていく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成28年度の計画	用地購入	平成28年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	用地購入及び土地代金支払	39,320	39,320	当初	39,320	39,319	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越			現年分	39,319
③達成状況	完了							
④未完了・非着手の理由		平成29年度への繰越額(単位:千円) 0						